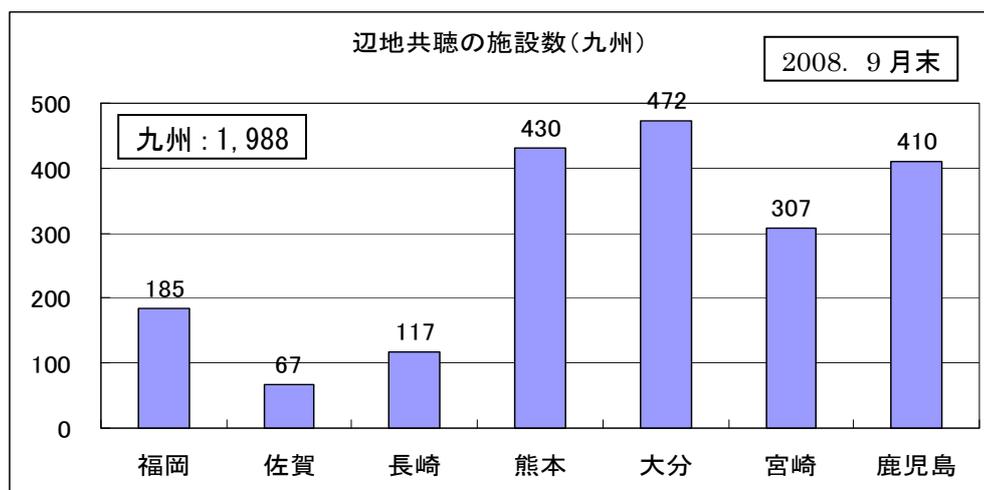
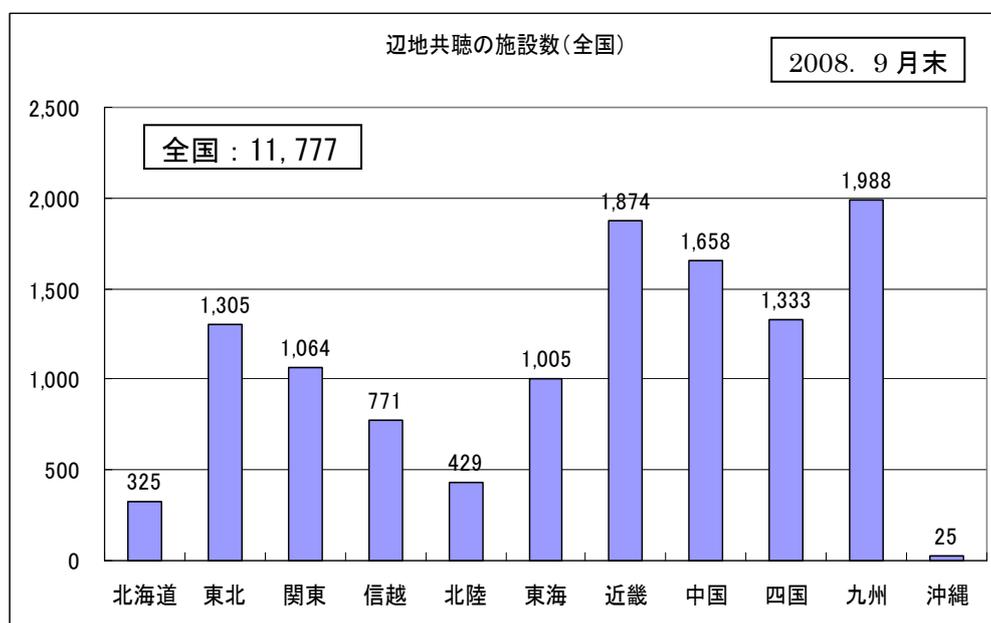


## 辺地共聴施設デジタル化ロードマップ（九州の概況）（2008.9月末現在）

### （1）施設数

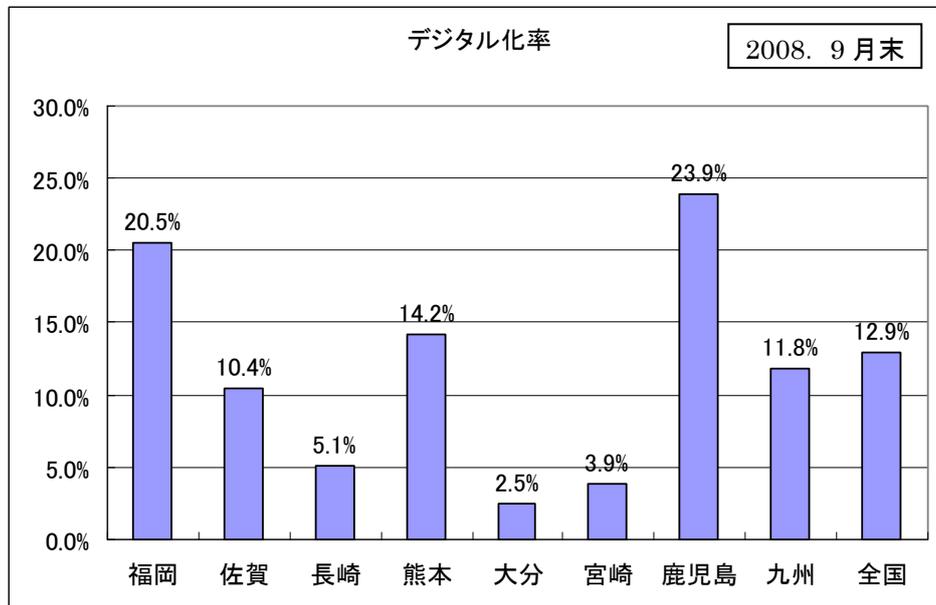
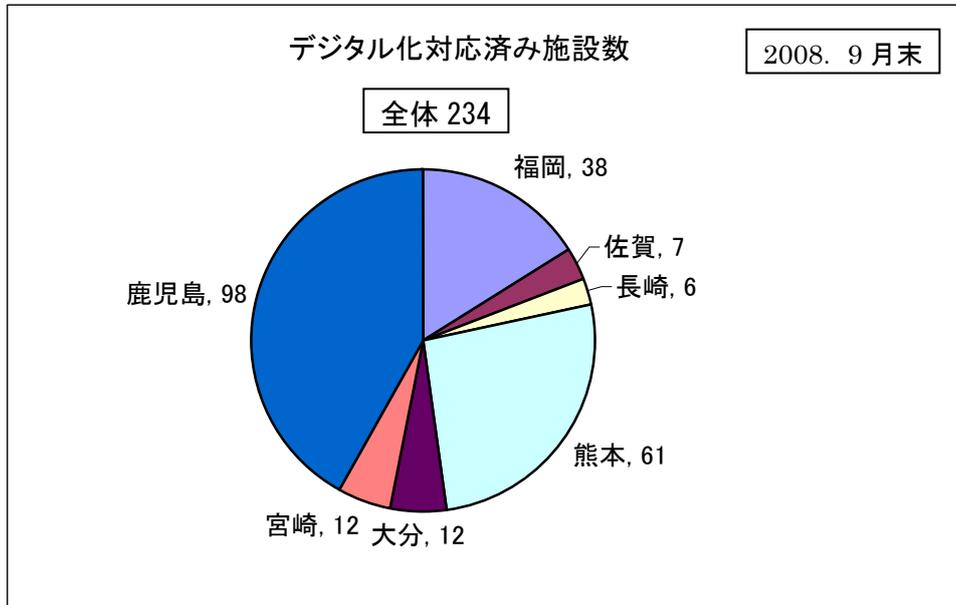
辺地共聴施設（自主共聴）の施設数は全国で約 12,000 施設。九州は山間地が多いことから、1,988 施設となっており、全国で最も多い。

また、九州各県の状況をみると、大分、熊本、鹿児島、宮崎の順。各県内に山間地を多く抱えているためと推察される。



(2) 2008年9月末現在のデジタル化改修率

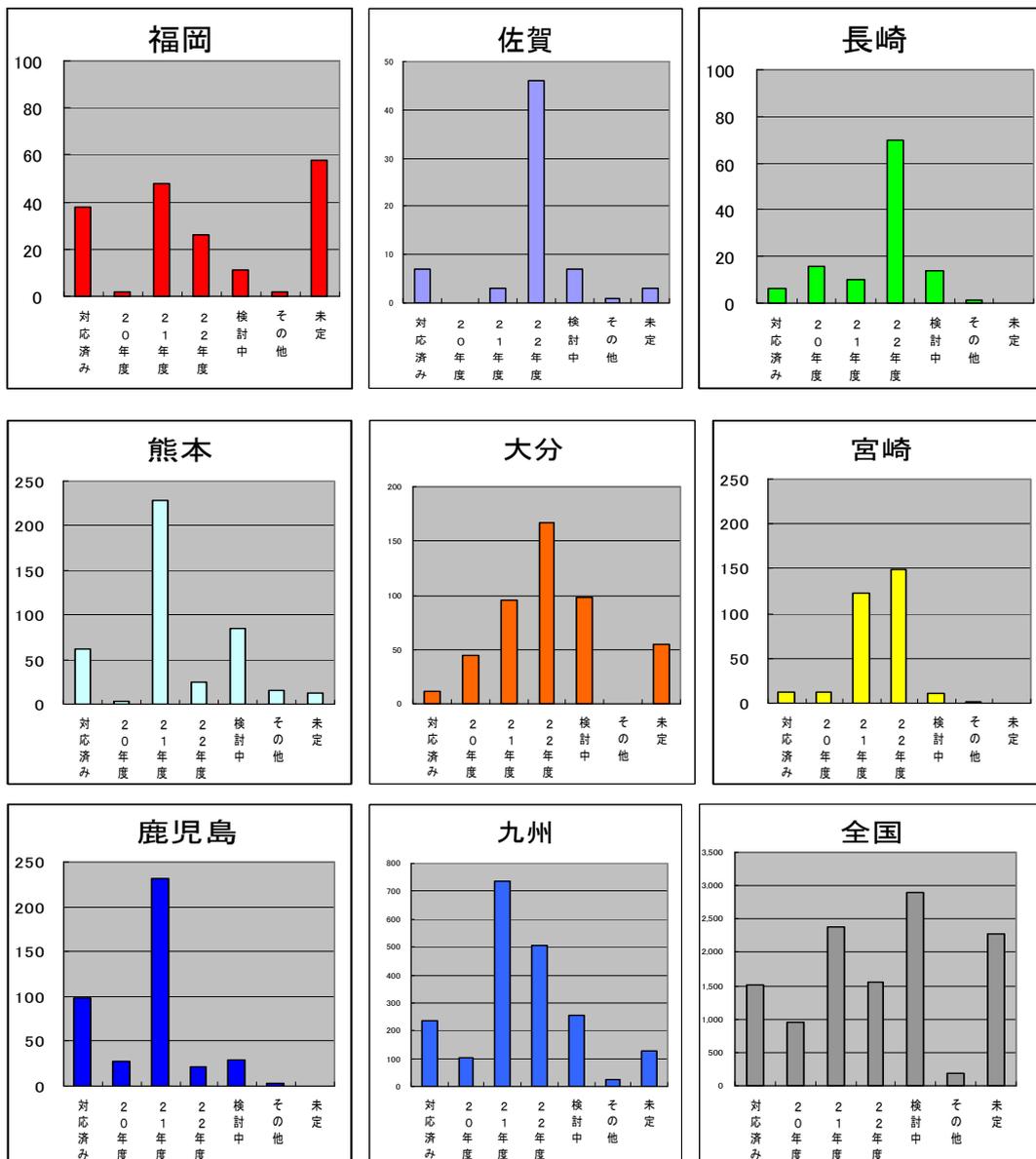
九州全体のデジタル化率は11.8%であり、ほぼ全国平均(12.9%)の水準。  
鹿児島県がデジタル化対応済み施設数及びデジタル化率とも最も高く、  
デジタル化改修が進んでいる。



### (3) 今後のデジタル化計画

#### ア) 改修時期

九州全体をみると、21、22年度の改修が多くなっているが、今後は、「時期検討中」、「未定・未把握」の施設について、早期の計画策定が必要。



#### \* デジタル放送推進のための行動計画（第9次）

辺地共聴施設のデジタル化対応について、以下の目標を掲げて取り組む。

##### ① 最終目標

- ・ 2011年3月までに、ほぼ全施設（2万施設、140万世帯）の対応完了

※ デジタル化改修が困難な共聴施設については、2011年3月以降も引き続き整備する。

##### ② 当面の目標（NHK共聴は除く）

- ・ 2010年3月時点において約6,800施設の対応完了（対応率約58%）

イ) 改修方法

改修方法を県別にみると、佐賀県、大分県は CATV の整備が進んでおり、CATV 編入の占める割合が多い（佐賀 70.1%、大分 65.3%）。

なお、福岡県は他県に比べ「未定・未把握」の割合が多く、早期の計画策定が必要。

